

2021年度入学試験の入学者選抜方法について <第二報>

松山東雲女子大学（人文科学部 心理子ども学科）では、2021年度入学者選抜について、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価し、本学のアドミッションポリシーに基づき、以下のように実施する予定です。

1. 「総合型選抜」および「学校推薦型選抜」

「総合型選抜」の出願時期を9月以降、合格発表時期を11月以降とします。

「学校推薦型選抜」の出願時期を11月以降、合格発表時期を12月以降とします。

2. 「一般選抜」

「一般選抜」の実施時期は2月1日以降とします。

指定する科目については「国語」「英語」とし、いずれも従来どおり記述式問題を含んでいます。

「英語」については、実用英語技能検定（通称：英検）を導入します。但し、実用英語技能検定を利用せず、本学の「英語」試験を受験することも可能です。

なお、大学入試センターが提供する『大学入試英語成績提供システム』の成績は利用しません。

「英語」における、英語資格利用については、一般選抜入試の願書提出時に、実用英語技能検定（通称：英検）の証書のコピーを提出することとし、所持している等級は以下のように扱います。

所持する級	評点（換算）	「英語」試験の受験の有無
2級以上	100点	受験を免除し換算点で選抜判断 ※注1
準2級	80点	受験を免除し換算点で選抜判断 ※注1
3級	60点	要受験 ※注2

注1 資格を利用する場合、「英語」試験を免除する。ただし、資格を保有していたとしても、これを利用せずに「英語」を受験することは可能。

注2 英検3級の保持者は、一般選抜入試の「英語」を受験する必要がある。試験で61点以上を取った場合は試験の点を採用し、試験の点数が60点を下回る場合は、60点を資格による最低補償として選抜判断を行う。

3. 「大学入学共通テスト」について

「国語」については、記述式問題の段階的評価を点数化し、マーク式の得点に加点する形で活用します。「数学」については、記述式問題も含めて活用します。

4. 調査書等の出願書類の活用

受験生の「知識・技能」のほか、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価するため、すべての入試区分において調査書・志願理由書等を活用します。

なお、eポートフォリオ（JAPAN e-Portfolio等）は、全ての入試区分において利用しません。

※上記は、現時点のものであり、今後変更になる可能性があります。

2021年度入学者選抜に係る実施内容等については、段階的にホームページ等で公表する予定です。詳細は「2021年度入試 募集要項」（2020年6月発表予定）等で発表します。